

医師らハンガリーへ

ウクライナ避難者支援

AMDAなど

ロシアの軍事侵攻を受けてウクライナから避難した人々の支援のため、国際医療NGO「AMDA」（岡山市）などが派遣を決めた医師と看護師らが9日、ハンガリーを目指してJR岡山駅を出発した。



ウクライナからの避難者支援へ出発する医師や看護師119日、JR岡山駅

川市のさくら診療所理事長・吉田修さん(63)、東京都の看護師の松本圭古さん(51)。AMDAの難波妙理事(58)らも同行する。

一行はハンガリーの首都ブダペストに向かい、既にAMDAが派遣した医師らと、避難者らの医療支援に当たる予定。活動地域は現地で最終判断する。2週間ほどの予定という。吉田医師は「ヨーロッパの親類を頼ってウクライナを脱出する人が多いと聞いている。ウクライナ人のために力になりたい」と話した。

AMDAは緊急人道支援活動などにかかる寄付も受け付けている。問い合わせは事務局(086・252・7700)。(神崎卓征)